

# 教育委員会事務局 平成25年度 局運営方針

## 1. 主な現状と課題

避難場所機能を有する学校及び公民館において、今後も起こりうる災害に備え、安全で安心して学べる教育環境の整備が求められており、中でも老朽化している施設の改修が課題となっています。

学校教育においては、社会が急速に変化していく中で、「知」「徳」「体」「コミュニケーション」のバランスのとれた豊かな人間性と創造性を備えた子どもの育成が求められています。

また、子どものいじめや自殺等の問題がクローズアップされる中、いじめや不登校の解消はもとより、生命尊重教育の一層の充実を図るための、人材の確保や育成等の対策が喫緊の課題となっています。

生涯学習においては、市民ニーズに応じた様々な取組を通じて、誰もが「学べる・選べる・生かせる」学習環境を更に充実させることが課題となっています。

このような現状を踏まえ、学校教育や生涯学習に関する中・長期的な計画の見直しが必要となっています。

### (1) 教育施設のリフレッシュが必要です。

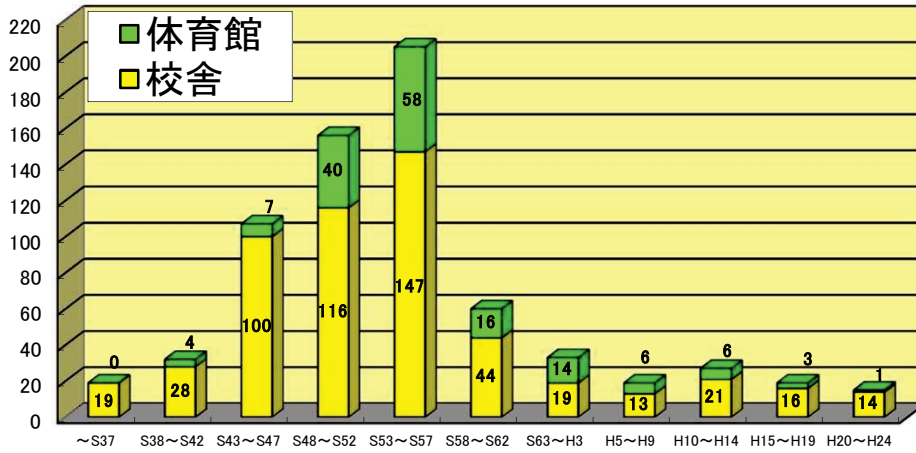
学校施設及び公民館は、災害時には地域住民の避難場所となる重要な役割を担っていることから、平成24年度に耐震化を完了することを目指して事業を推進してきました。

一方、平成24年4月1日現在、小・中・高等学校及び特別支援学校の校舎・体育館は692棟あり、そのうち建築後30年以上経過した校舎、体育館が519棟、約75%にのぼり、学校施設の老朽化が進んでいます。また、公民館においても建築後30年以上を経過している施設が半数を超えており、施設の老朽化が進んでいます。これらの老朽化した校舎、体育館、公民館施設等の大規模改修を重点的かつ計画的に行うことにより施設の機能を適切に維持し、長寿命化を図る必要があります。

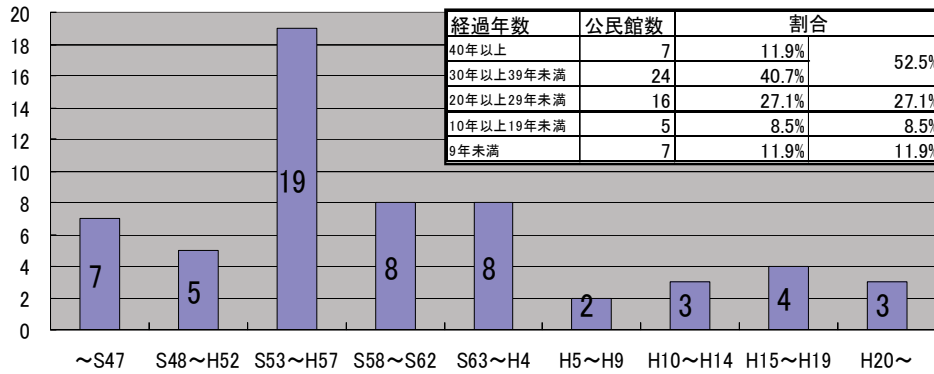
さらに、照明器具の落下防止、窓ガラスの飛散防止など非構造部材の耐震化への対応が課題となっており、特に、体育館については、併せて出入口の段差解消、トイレ改修などの避難場所としての機能の強化を行う必要があります。また、大規模改修に併せて施設のバリアフリー化、創エネ・省エネ等の環境に配慮した施設整備など、質的な改善も求められています。

以上のように、老朽化対策や非構造部材の耐震化等を計画的に進めることにより教育施設のリフレッシュを図り、安全安心で快適な学習環境を確保する必要があります。

さいたま市立小中高等学校、特別支援学校建物経年別棟数  
(平成24年4月1日現在)



さいたま市立公民館経年別館数(平成24年4月1日現在)



※建築後40年以上経過している公民館  
岩槻城址(49年)、浦和南(44年)、大久保(43年)、六辻(43年)、大戸(41年)、与野本町(40年)、三室(40年)

(2) 「知」「徳」「体」「コミュニケーション」のバランスのとれた豊かな人間性と創造性を備えた子どもを育てていく必要があります。

児童生徒の個に応じた指導を推進し、自ら学び自ら考え、確かな学力を身に付けさせるため、教員免許を有する少人数指導等支援員の配置や質の高い自然体験活動の実施など、教科等における今日的課題において、学習支援等の一層の充実が求められています。

また、ノーマライゼーションの理念のもと、特別支援教育の一層の充実を図る必要があります。

さらに、市立4高等学校それぞれが、生徒一人ひとりの志を育て、将来様々な分野で活躍する人材を育成し、社会や市民ニーズに応える魅力ある学校づくりをする必要があります。

(3) 防災教育カリキュラムの円滑な実施を図り、安全教育を一層充実させる必要があります。

平成24年度に全市立中・高等学校へ配備した訓練用AEDを有効に活用し、防災教育をさらに一層充実させる必要があります。また、本市独自の防災教育カリキュラムの円滑な実施を図る必要があります。

(4) いじめ、暴力行為や自殺等の重大事故を防ぎ、健全育成を図るためのきめ細かな取組を進めることが重要です。

児童生徒のいじめ、暴力行為や自殺等の重大事故を防ぐことは、最重要課題の一つです。

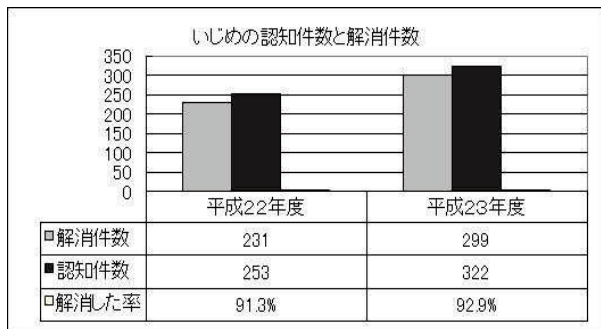
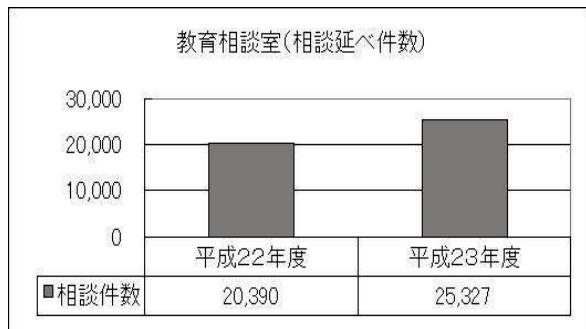
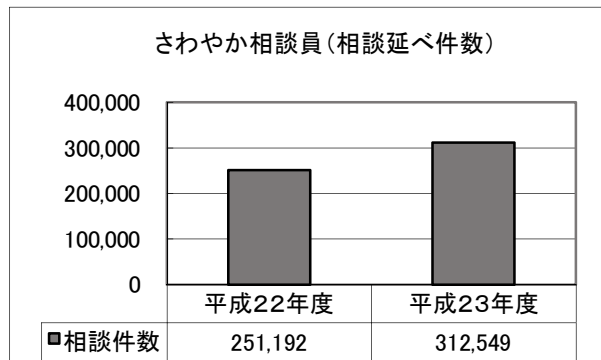
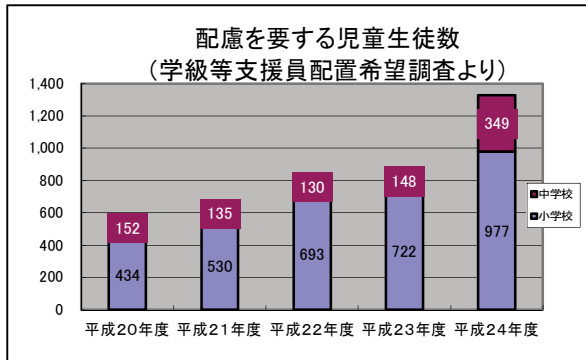
そのために、専門的な知識や経験を有する警察OBや教員免許所持の非常勤職員を配置し、いじめや暴力行為等の問題行動に迅速・適切に対応できる体制を充実させることが重要です。

また、自殺の危険がある児童生徒に対して、適切に対応できるスキルを身に付けた\*ゲートキーパーを養成することが強く求められています。

さらに、児童生徒の不安や悩みに応えるため、学級等支援員やさわやか相談員の支援を充実させるとともに、緊急事案や悪質ないじめ等に迅速かつ的確に対応するためのより経験豊富なスクールカウンセラースーパーバイザーの新たな配置や、ネットいじめ等を防止するためにメディアリテラシー教育の一層の充実が必要です。

\*『ゲートキーパー』（内閣府作成「ゲートキーパー養成研修テキスト」から）

悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人のこと。自殺対策におけるゲートキーパーの役割は、心理社会的問題や生活上の問題、健康上の問題を抱えている人や、自殺の危険を抱えた人々に気づき、適切に係わること。



○10代～30代の死因上位

年齢	第1位	第2位	第3位
10～14	悪性新生物	不慮の事故	自殺
15～19	不慮の事故 自殺		悪性新生物
20～24	自殺	不慮の事故	悪性新生物
25～29	自殺	不慮の事故	悪性新生物
30～34	自殺	悪性新生物	不慮の事故
35～39	自殺	悪性新生物	心疾患

内閣府 平成23年版 自殺対策白書

○「抑うつ尺度に係る調査」集計結果

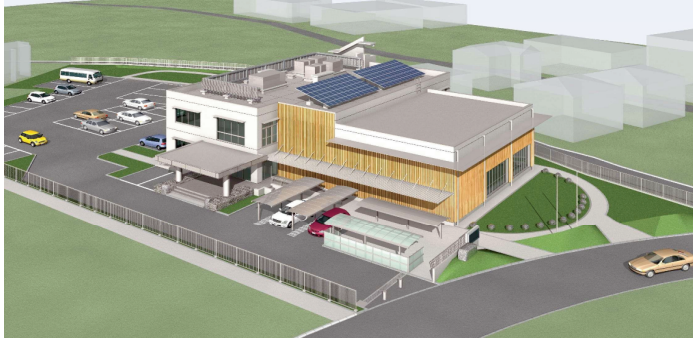
(平成21年7月上旬調査)さいたま市小・中各10校

	小学校6年生	中学校1年生
抑うつ傾向	14.4%	17.8%
「生きていても仕方がないと思う」という質問に対して、「いつもそうだ」と答えた	3.7%	5.8%

(5) 地域コミュニティ活動の拠点となる公民館を整備する必要があります。

ひまわり特別支援学校増築棟の計画に併せて、公民館未設置である内野地区自治会連合会地区に（仮称）内野地区公民館の整備を進める必要があります。

（仮称）内野地区公民館完成予想図

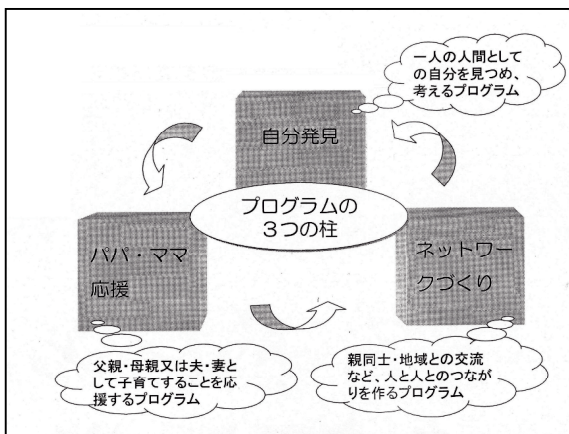


(6) 「親の学びの場」を充実させ、子育て支援を強化する必要があります。

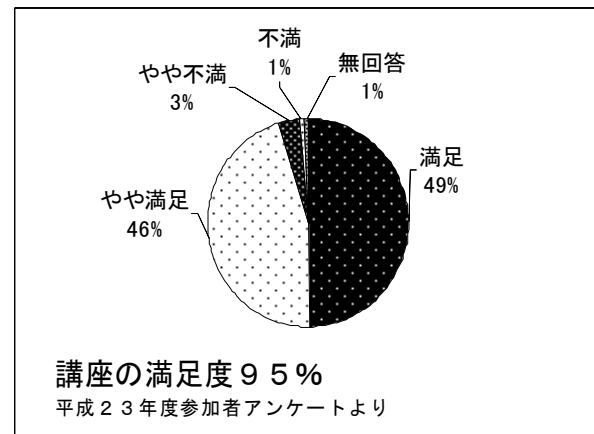
少子化・核家族化が進み、地域住民との関係も希薄になり、子育てに対する不安や負担が増す中で、親自身が成長するための「親の学びの場」を充実させ、子育て支援を行う必要があります。

現在、全公民館で実施している親の学習事業では、参加者が主体的に学ぶ参加型の「子育て応援パパ・ママおしゃべりプログラム」を使用しています。同プログラムは、「自分発見」「パパ・ママ応援」「ネットワークづくり」の3つの柱で構成されており、事業を効果的に実施することにより、親同士の交流や地域との交流を活性化させることが必要です。

親の学習3つの柱



平成23年度親の学習事業アンケート結果



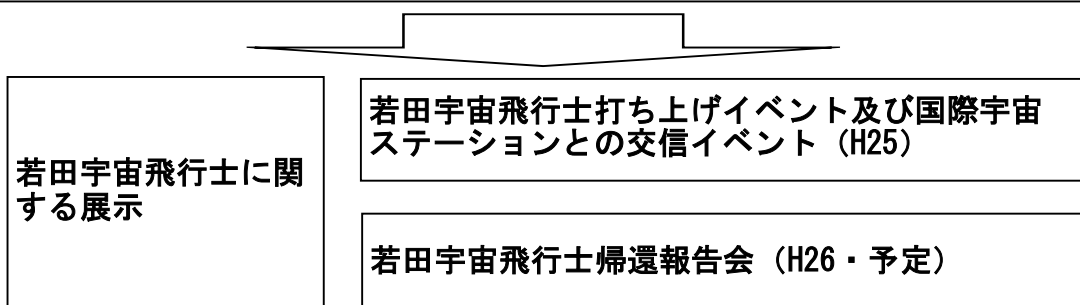
平成23年度、公民館11館でモデル的に実施をした親の学習事業のアンケート結果より

(7) 若田宇宙飛行士のフライトを応援し、同氏の功績や活躍を市民に広報する必要があります。

平成25年12月から4回目のフライト、今回は約6ヶ月間の長期滞在を予定している若田宇宙飛行士は、日本人初の国際宇宙ステーションのコマンダー（船長）に就任します。本市出身であり青少年宇宙科学館・宇宙劇場の名誉館長でもある同氏は、さいたま市の誇りでもあります。また、さいたま市民の宇宙開発や宇宙技術への関心は高く、「若田さんを応援したい」、「若田さんに関する展示や情報コーナーの充実をしてほしい」等の声が寄せられ、宇宙に対する興味・関心に一層応えていく必要があります。

そこで、同氏の功績や活躍等の情報を広く市民に知らせ、郷土愛を深めるために、展示や普及活動の充実を図る必要があります。

今回のフライトを契機に、若田宇宙飛行士を中心とした日本の宇宙開発の展示を充実させ、全国に誇れるさいたま市出身 若田宇宙飛行士の功績を広く市民に顕彰する必要があります。



(8) 活力のあるまち、未来に誇れるまちにするため、文化財の保存・整備・活用を推進する必要があります。

文化財は、我々の祖先が今日に残してくれたもので、子孫へと引き継がなければなりません。現在、国指定史跡見沼通船堀や市有の指定文化財などが、修理や復原などを要する時期を迎えています。そこで、文化財の保存や整備を的確に行い、文化財の保存・活用施設についても整備を進め、文化財を未来に引き継ぐ必要があります。

**文化財の整備** 指定史跡や文化財を適切に保存管理し、活用を進める必要があります。

### ○国指定史跡見沼通船堀の整備

貴重な歴史資源の維持管理を行い、市民の方の幸せや「心の安心」に繋げつつ、「資源」としての価値を付加し活用を進める必要があります。



前回整備から15年  
新たな課題が生じています



史跡のあるべき姿  
(写真は前回の整備  
工事竣工状態)



にぎわう「閘門開閉実演」  
…文化財は地域の誇り、  
外から人を呼び込む資源

見沼通船堀が  
存在することの  
意義



見沼通船堀はその仕組や流通経済の面から非常に貴重な史跡です。遠く県外からも見学者が訪れます。市のイメージアップや観光の面でも貴重な存在です。

### ○国指定史跡真福寺貝塚の整備

わが国を代表する縄文遺跡である真福寺貝塚。指定地の公有化や基礎調査を進め、今後の環境整備の実施条件を整備する必要があります。

**文化財保存・活用施設の整備** 文化財保存・活用施設を適切に整備し、文化財を後世に引き継ぎ、さらに活用を図る必要があります。

### ○浦和文化財資料室の整備

埋蔵文化財保存・活用の中核施設である浦和文化財資料室を移転し、一層の機能充実を図る必要があります。

(9) 短歌を通じた文化の継承が必要です。

さいたま市は、加藤克己氏、近藤芳美氏や市に著作権等が寄贈されている大西民子氏をはじめ著名な歌人の活躍により「現代短歌発祥の地」と言われています。また、本市主催の「現代短歌新人賞」は13回を数え、受賞者は第一線で活躍しています。このように、現代短歌は本市の伝統的な文化の一つとして位置付けられます。

そこで「さいたま子ども短歌賞」を創設し、この文化的資産を次世代に継承することが必要です。

#### 大西民子氏について

昭和期の女流歌人の旗手として長く第一線で活躍され、いまなお多くの人に慕われている歌人です。平成8年に大西民子氏の著作、資料及び著作権がさいたま市（旧大宮市）に寄贈されています。

【略歴】（1924年～1994年）

- ・1924年 盛岡市生まれ
- ・1948年 旧大宮市に移り住み、以降作歌活動の場とする
- ・1956年 第一歌集『まぼろしの椅子』刊行後、1998年（平成10年）までに10冊の歌集を刊行。第八歌集『風水』で迢空賞受賞、第九歌集『風の曼荼羅』で詩歌文学館賞受賞
- ・1992年 短歌の業績が認められ紫綬褒章受賞
- ・1993年 大宮市文化賞受賞

#### 平成24年度 第13回現代短歌新人賞 選考委員

- ・中村 稔 選考委員長 詩人、日本近代文学館名誉館長、  
全国文学館協議会会長
- ・馬場あき子 選考委員 歌人、評論家、朝日新聞歌壇選者
- ・篠 弘 選考委員 歌人、日本現代詩歌文学館館長、  
日本文藝家協会理事長、毎日新聞歌壇選者
- ・小池 光 選考委員 歌人、仙台文学館館長、読売新聞歌壇選者
- ・栗木 京子 選考委員 歌人、読売新聞歌壇選者

#### 現代短歌新人賞受賞者【実績】

(回)	(年度)	(受賞作)	(受賞者)
第1回	平成12年度	『若月祭』	梅内 美華子
第2回	平成13年度	『こいびと』	小守 有里
第3回	平成14年度	『みづを搬ぶ』	渡 英子
第4回	平成15年度	『いびつな果実』	松本 典子
第5回	平成16年度	『無言歌』	河野 美砂子
第6回	平成17年度	『冷えゆく耳』	後藤 由紀恵
第7回	平成18年度	『鳥女』	松村 由利子
第8回	平成19年度	『乱反射』	小島 なお
第9回	平成20年度	『夏鴉』	澤村 斉美
第10回	平成21年度	『マトリョーシカ』	浦河 奈々
第11回	平成22年度	『アシンメトリー』	遠藤 由季
第12回	平成23年度	『一匙の海』	柳澤 美晴
第13回	平成24年度	『青雨記』	高木 佳子



(10) 『さいたま市教育総合ビジョン』についての中見直し、及び『第2次さいたま市生涯学習推進計画』の策定を行う必要があります。

平成21年3月に策定された『さいたま市教育総合ビジョン』は、さいたま市が今後概ね10年間を通じて目指すべき教育の姿と、平成21年度からの5年間に総合的かつ計画的に取り組む施策や事業について示しており、策定後の社会情勢の変化や施策の実施状況、更には東日本大震災の影響などについて検証・評価を行うとともに、総合振興計画等の内容も踏まえながら、新たに平成26年度からの5年間に取り組むべき施策や事業について明らかにすることが必要です。

さらに、『さいたま市生涯学習推進計画』については、平成25年度に計画期間を終了することから、平成26年度以降を対象とした第2次計画を策定する必要があります。策定に当たっては、個人の要望や社会の要請を踏まえた計画とするため、市民との協働により進めていく必要があります。

		年度										
		平 21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
教育総合ビジョン	今後概ね10年間を通じて目指すべき教育の姿	▶										
	5年間に総合的かつ計画的に取り組む施策や事業	▶										
	改訂						▶					

※「さいたま市生涯学習推進計画」の計画期間については、さいたま市総合振興計画基本計画の計画期間（平成26年～32年）などを参考に検討

## 2. 基本方針・施策体系別主要事業

- ①学校施設及び公民館の大規模改修及び改築を重点的かつ計画的に進め、リフレッシュを図ることにより、安全・安心で快適な学習環境を確保するとともに、災害時の避難場所となる体育館等の非構造部材の耐震化・バリアフリー化やトイレ改修等を進めることにより、安全・安心な避難場所機能の整備を図ります。
- ②学校・家庭・地域・行政の連携を一層深め、社会全体の力を結集し、「知」「徳」「体」「コミュニケーション」のバランスのとれた子どもを育成するとともに、確かな学力を身に付けた心身ともに健やかな子どもを育てるため、きめ細かい指導や個別の支援、いじめや不登校などの解消を進め、希望をはぐくむ教育を推進します。
- ③公民館などの生涯学習施設の新規施設の整備を計画的に進め、また、親の学習事業による子育て支援、さらに、伝統的な文化の継承を促進するための事業などハード・ソフト両面で事業を進めます。
- ④貴重な地域固有の人材や文化財、自然的資源の活用を図り、また保存・活用環境の整備を進めます。
- ⑤学校教育や生涯学習に関する中・長期的な計画の見直しを行います。

### (1) 教育施設のリフレッシュ事業を総合的・計画的に推進します。

\* ( ) 内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	25年度	24年度	説明
1	新 総	学校施設リフレッシュ 計画作成事業 〔学校施設課〕	7,000 (7,000)	0 (0)	小・中・高等学校及び特別支援学校の老朽化した校舎、体育館等の中長期的な大規模改修及び改築計画を作成
2	拡 総 防	(小・中・高)学校体育 館避難場所機能整備事 業 〔学校施設課〕	902,213 (160,687)	52,917 (52,917)	災害時に避難場所となる学校体育館の非構造部材の耐震化及びバリアフリー化を実施

### (2) 「知」「徳」「体」「コミュニケーション」のバランスのとれた豊かな人間性と創造性を備えた子どもを育成します。

\* ( ) 内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	25年度	24年度	説明
3	総 子	少人数指導等支援員配 置事業 〔教職員課〕	203,996 (202,994)	204,654 (203,450)	小・中学校全校に少人数指導等支援員を配置し、児童生徒一人ひとりにきめ細かな指導を実施
4	拡 子	さいたま市海外姉妹都 市教員派遣・受入事業 〔指導1課〕	587 (587)	58 (58)	さいたま市と海外姉妹都市(リッチモンド市)の教員の派遣と受入を毎年交互で実施

〔区分〕 新…新規事業 拡…拡大事業 総…総合振興計画新実施計画事業 防…防災、環境・エネルギー対策  
子…高齢者支援、子育て支援、教育の充実 健…健康増進、スポーツ振興 活…地域経済の活性化

\*( )内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	25年度	24年度	説明
5	総 防 子	特別支援教育推進事業 〔指導2課〕	451,799 (197,251)	177,463 (131,903)	安全の確保と指導の一層の充実を図るための特別支援学校の増改築 障害のある児童生徒が地域で学ぶことができるよう、特別支援学級及び通級指導教室の拡充
6	新 総 子	市立高等学校特色ある 学校づくり事業 〔高校教育課〕	12,472 (12,472)	0 (0)	市立4高校それぞれが、高い志を持ち世界で活躍する人材を育成するために、バラエティに富んだ質の高い教育を提供できる、特色のある魅力的な学校づくりを実施

## (3) 防災教育カリキュラムの円滑な実施を図り、安全教育の一層の充実を目指します。

\*( )内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	25年度	24年度	説明
7	総 防 子	防災教育カリキュラム 推進事業 〔健康教育課〕	253 (253)	0 (0)	学校における防災教育を推進するため、教員を対象にした防災教育カリキュラムにかかわる研修会の開催、緊急地震速報を活用した避難訓練の実施及び新入学生への「災害時あんしんつながるカード」の配付

## (4) いじめや自殺等の重大事故を防ぎ、健全育成を図るためのきめ細かな取組を推進します。

\*( )内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	25年度	24年度	説明
8	新 総 子	いじめ・自殺防止等子 どもサポート事業 〔指導2課〕	19,341 (11,800)	0 (0)	悪質ないじめ問題等に適切・迅速に対応するため、専門的な知識や経験を有する警察OB等を配置するとともに、自殺防止のため、ゲートキーパーとして適切に対応できる知識・スキルを身につけた教員を養成
9	拡 総 子	スクールカウンセラー 等活用事業 〔指導2課〕	92,626 (53,399)	71,877 (48,142)	(1)教職員又は保護者への指導助言及び児童生徒のカウンセリングを行うスクールカウンセラーを市立全中学校に配置 (2)緊急事案や悪質ないじめ等に迅速かつ的確に対応するために、より経験豊富なスクールカウンセラースーパーバイザーを各相談室に新たに配置

〔区分〕 新…新規事業 拡…拡大事業 総…総合振興計画新実施計画事業 防…防災、環境・エネルギー対策  
子…高齢者支援、子育て支援、教育の充実 健…健康増進、スポーツ振興 活…地域経済の活性化

\* ( )内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	25年度	24年度	説明
10	総 子	学級等支援員配置事業 〔指導2課〕	105,328 (104,905)	105,788 (105,788)	諸問題にかかわる児童生徒の支援及び学級運営の改善やきめ細かな教育の一層の充実
11	拡 総 子	さわやか相談員配置事業 〔指導2課〕	171,244 (170,420)	171,119 (170,130)	市立全中学校にさわやか相談室を設置し、児童生徒及び保護者からの相談に応じる、さわやか相談員及び小学校専任さわやか相談員を配置
12	総	メディアリテラシー教育推進事業 〔教育研究所〕	1,070 (1,070)	648 (648)	児童生徒・保護者・地域・教職員対象の携帯・インターネット安全教室の市立小・中・特別支援学校での実施及び学校非公式サイト等の監視と削除要請

## (5) 地域コミュニティ活動の拠点となる公民館の整備を行います。

\* ( )内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	25年度	24年度	説明
13	総 防 活	(仮称)内野地区公民館 整備事業 〔生涯学習総合センター〕	390,543 (113,843)	247,470 (62,970)	ひまわり特別支援学校増築棟の建設計画に併せて、平成26年度の開館に向け、公民館を整備

## (6) 「親の学びの場」を充実させ、子育て支援を強化します。

\* ( )内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	25年度	24年度	説明
14	拡 総 子	親の学習事業 〔生涯学習総合センター〕	1,253 (1,253)	1,144 (1,144)	親が自分自身や子育てについて考え、親自身が成長するための「親の学びの場」を充実させ、さらに、この学習を通して、親同士の交流や地域との交流を活性化することで、子育て支援を強化

〔区分〕 新…新規事業 拡…拡大事業 総…総合振興計画新実施計画事業 防…防災、環境・エネルギー対策  
子…高齢者支援、子育て支援、教育の充実 健…健康増進、スポーツ振興 活…地域経済の活性化

(7) 日本人初の国際宇宙ステーション・コマンダー（船長）に就任する若田宇宙飛行士を応援します。

\*（）内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	25年度	24年度	説明
15	新 子	若田宇宙飛行士顕彰事業 〔青少年宇宙科学館〕	10,000 (10,000)	0 (0)	平成25年12月から約6か月間の長期滞在が予定されている若田光一宇宙飛行士に関する展示及び打ち上げ応援や交信イベントなどの事業を青少年宇宙科学館、宇宙劇場等で実施

(8) 活力あるまち、未来に誇れるまちの礎として、文化財の保存・整備・活用を推進します。

\*（）内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	25年度	24年度	説明
16	拡 総 防 活	国指定史跡見沼通船堀 整備事業 〔文化財保護課〕	6,611 (6,611)	11,707 (11,707)	「閘門式運河」として名高い国指定史跡見沼通船堀の良好な管理や普及啓発を行い、今後の維持管理を検討
17	新 総 活	国指定史跡真福寺貝塚 整備事業 〔文化財保護課〕	4,164 (3,664)	4,224 (3,647)	国指定史跡「真福寺貝塚」の管理と整備を実施
18	拡 総 活	浦和文化財資料室整備 事業 〔文化財保護課〕	161,592 (51,792)	0 (0)	浦和文化財資料室を仮移転し、併せて今後の施設整備に向けた準備等を実施

(9) 学校や地域の歌人との連携により、子ども短歌賞を創設します。

\*（）内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	25年度	24年度	説明
19	拡 子	子ども短歌賞推進事業 〔生涯学習振興課〕	1,220 (1,220)	0 (0)	小・中学生を対象に短歌作品を募集し、優れた作品を表彰するため、「さいたま子ども短歌賞」を創設

(10) 教育総合ビジョンの改訂、及び第2次生涯学習推進計画の策定を行います。

\*（）内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	25年度	24年度	説明
20	新	「さいたま市教育総合ビジョン」改訂事業 〔教育総務課〕	168 (168)	0 (0)	「さいたま市教育総合ビジョン」の改訂

〔区分〕 新…新規事業 拡…拡大事業 総…総合振興計画新実施計画事業 防…防災、環境・エネルギー対策  
子…高齢者支援、子育て支援、教育の充実 健…健康増進、スポーツ振興 活…地域経済の活性化

\*（ ）内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	25年度	24年度	説明
21	拡 子	第2次生涯学習推進計 画策定事業 〔生涯学習振興課〕	4,631 (4,631)	1,400 (1,400)	「第2次さいたま市生涯学習推進計画」の策定

〔区分〕 新…新規事業 拡…拡大事業 総…総合振興計画新実施計画事業 防…防災、環境・エネルギー対策  
子…高齢者支援、子育て支援、教育の充実 健…健康増進、スポーツ振興 活…地域経済の活性化

### 3. 行財政改革への取組

#### (1) 公共施設マネジメント計画の推進

- ① 公共施設マネジメント計画アクションプランの策定に併せて、学校施設リフレッシュ計画を作成し、老朽化した学校施設の計画的な改修及び改築を図ります。また、学校施設リフレッシュ計画の作成と併せて、施設の長寿命化の検討を行います。

〔学校施設課〕

#### (2) 入学準備金・奨学金貸付金元利収入の収納率向上

- ① 収納率向上に向けて、収納対策課と連携し臨戸訪問を積極的に実施するとともに、法的措置に取り組みます。また、口座振替率の向上に向けて、納付書払いから口座振替への変更を働きかけます。〔学事課〕

#### (3) 教員採用選考試験運営事業の見直し

- ① 教員採用選考試験の内容について見直しを行い経費の削減を図ります。

〔教職員課〕

#### (4) 学校防犯体制の整備

- ① 通学区域全体の安全を確保するために、多くの人の目で子どもを見守る「学校安全ネットワーク」による学校防犯体制を整備、拡充していきます。〔健康教育課〕

#### (5) 小学校給食調理業務の委託化

- ① 小学校給食調理業務について、委託化を進め、行政運営の効率化を図ります。

〔健康教育課〕

#### (6) 少年自然の家事業の見直し

- ① 少年自然の家の有効利用の観点から、閑散期における一般青少年団体等の利用を引き続き積極的に進めます。〔館岩少年自然の家〕

#### (7) 岩槻学校給食センター管理運営事業の見直し

- ① 平成25年度末の閉鎖に伴い管理運営事業の見直しを行い経費の削減を図ります。

〔岩槻学校給食センター〕

#### (8) 図書館運営の見直し

- ① 地区図書館の窓口等業務について、委託化を進め、行政運営の効率化を図ります。

〔中央図書館管理課〕

#### (9) 広告等による財源確保

- ① 図書館内の空きスペースに、パンフレットラックを設置し、広告料を得ることで、自主財源の確保を図ります。〔中央図書館管理課〕

#### (10) うらわ美術館の受付・監視業務の委託化

- ① 美術館の受付・監視業務を委託し、行政運営の効率化を図ります。〔うらわ美術館〕

(11) 既存事業の見直しによるコスト削減の取組

既存事業の見直しによるコスト削減額	165,810 千円
-------------------	------------

- ① 教員採用試験について、内容を精査することで報償費、消耗品費、委託料の見直しを行い、経費の削減を図りました。〔教職員課〕（871千円）
- ② 学校防犯体制の整備について、実績を考慮し、委託料や報償費の見直しを行いました。〔健康教育課〕（5,216千円）
- ③ 平成25年度末の閉鎖に伴い、委託料の内容精査、及び消耗品費、燃料費の見直しを行い、経費の削減を図りました。〔岩槻学校給食センター〕（7,329千円）